資料3－8

指定管理者総合評価シート

1　基本情報

（評価対象期間 令和２年４月１日～ 令和６年３月３１日）

施設名称	千葉市少年自然の家
条例上の設置目的	自然環境における集団生活及び体験活動を通じて、少年の健全な育成を図るとともに、市民に自然の中での学習及び相互交流の場を提供する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	子どもたちに豊かな自然体験・共同生活体験を与える教育施設として、また市民が自然と親しむ活動等を展開する場として、整備された。 学校の児童生徒や市民の自然体験活動、研修活動の支援を基本としつつ、自然豊かな立地や本施設の設備を活かした新たな活用に取り組むことで、青少年の健全な育成に寄与する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	学校の教育課程に基づく体験学習や市民の自然体験活動・研修活動のためのプログラムを提供し、活動を支援するとともに、これまで施設を利用したことのない市民でも自然体験その他の体験活動に関心を持つことができるような魅力的な事業を展開していくことが求められる。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者の自然体験活動や集団生活体験に係る良質なサービスの提供、市民サービスの充実による利用満足度の向上、利用促進、管理運営経費縮減の効果を見込んでいます。 したがって、市としては、この制度導入効果を達成するため、指定管理者に民間のノウハウを活かしながら、柔軟な発想により事業を積極的に実施することを期待します。
指定管理者名	千葉YMCA・伊藤忠UCグループ
構成団体 （共同事業体の場合）	一般財団法人千葉YMCA（代表団体） 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社
指定期間	令和２年４月１日～　令和７年３月３１日（５年）
所管課	こども未来局こども未来部健全育成課

2　成果指標等の推移

（１）施設利用者数（成果指標１）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
実績値	22,535	59,775	78,058	86,718	247,086
数値目標※	94,000 (90,000)	98,000 (90,000)	102,000 (90,000)	106,000 (90,000)	400,000 (360,000)
達成率	24.0% (25.0%)	61.0% (66.4%)	76.5% (86.7%)	81.8% (96.4%)	61.8% (68.6%)

（２）主催事業の実施数（成果指標２）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
実績値	58	74	112	127	371
数値目標※	70 (20)	70 (20)	70 (20)	70 (20)	280 (80)
達成率	82.9& (290.0%)	105.7& (370.0%)	160.0% (560.0%)	181.4% (635.0%)	132.5% (463.8%)

（３）新規開発・改良を行った活動プログラム数（成果指標３）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
実績値	34	27	21	20	102
数値目標※	20 (10)	20 (10)	20 (10)	20 (10)	80 (40)
達成率	170.0& (340.0%)	135.0& (270.0%)	105.0% (210.0%)	100.0% (200.0%)	510.0% (255.0%)

（４）成果指標以外の利用状況を示す指標

ア　利用可能な活動プログラム数

指　標	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	平均
実績値	205	225	236	226	223
数値目標※	200件以上／年				200
達成率	102.5%	112.5%	118.0%	113.0%	111.5%

イ　移動教室・農山村留学、日帰り利用等モデルプラン

指　標	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	平均
実績値	14	15	15	16	15
数値目標※	10件以上／年				10
達成率	140.0%	150.0%	150.0%	160.0%	150.0%

※　数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

３　収支状況の推移

（単位：千円）

				令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	296,079	282,494	270,767	266,396	1,115,736
			計画	274,620	267,986	267,189	266,396	1,076,191
		利用料金	実績	5,633	16,070	24,133	27,635	73,471
			計画	27,469	28,780	29,948	31,115	117,312
		その他	実績	26,653	98,522	130,793	142,516	398,484
			計画	132,619	134,172	137,485	136,234	540,510
		合　計	実績	328,365	397,086	425,693	436,547	1,587,691
			計画	434,708	430,938	434,622	433,745	1,734,013
	支　出		実績	329,791	395,088	443,543	442,533	1,610,955
			計画	434,708	430,938	434,622	436,289	1,736,557
	収　支		実績	△ 1,426	1,998	△ 17,850	△ 5,986	△ 23,264
自主事業	収　入		実績	1,351	1,045	1,054	1,025	4,475
			計画					0
	支　出		実績	1,555	968	1,175	858	4,556
			計画					0
	収　支		実績	△ 204	77	△ 121	167	△ 81
総収入			実績	329,716	398,131	426,747	437,572	1,592,166
総支出			実績	331,346	396,056	444,718	443,391	1,615,511
総収支			実績	△ 1,630	2,075	△ 17,971	△ 5,819	△ 23,345
利益の還元額			実績	0	0	0	0	0
利益還元の内容								

＜収支のマイナスについて＞
令和４年度及び令和５年度の収支差額は、光熱費の高騰を踏まえ、支援金で補填対応済み。

4　管理運営状況の総合評価

評価項目	評　価	評価の具体的内容・理由
1　成果指標の目標達成	A	・事業期間全体の半分期間がコロナ禍であり、多数の事業を中止・縮小したほか感染症対策による制限を伴う運営を行う中で、施設利用者数は数値目標を達成できなかったが、利用者促進に向けた新規プログラムを精力的に開発したことから主催事業の実施数は非常に高い達成率に到達した。
2　市の施設管理経費縮減への寄与	C	・主催事業やプログラム指導料等の増収により、感染症対策や光熱費高騰、落雷による緊急対応等に伴う管理運営経費の不足額の縮減に努めた。
3　市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・使用許可等の手続きは適切に処理されていた。 ・要介助者に対する介助スタッフや医療的ケアを伴う児童の支援を行うスタッフの減免など、状況や内容に応じた適切な減免処理を行った。
4　施設管理能力		
（１）管理運営の執行体制	C	・利用者サービスの向上のため、教員免許やキャンプディレクター、キャンプインストラクターの資格保有者を配置した。 ・施設維持管理業務のため、防火防災管理者、建築物環境衛生管理技術者等の資格保有者を適切に配置していた。
（２）必要な専門職員の配置		
（３）従業員の能力向上		
（４）施設・設備の保守管理	C	・計画的に保守管理設備・備品管理・清掃・警備の業務を遂行していた。
ア　点検・予防保全		
イ　修繕		
（５）備品の管理、清掃、警備等		
ア　備品の管理		
イ　清掃		
ウ　警備業務		
5　施設の適正な管理		
（１）関係法令等の遵守	C	・個人情報保護法の規程に基づき適切に機密情報を管理した。 ・協定書や事業計画書等を事務所に備え、求めに応じて閲覧させる体制を整備している。
ア　個人情報保護		
イ　情報公開		
ウ　行政手続の明確化		
エ　労働条件確保		
（２）リスク管理・緊急時対応	B	・落雷や台風などの自然災害やイノシシなどの野生生物に関して、迅速かつ丁寧な対応を行い、利用者への影響を最小限に抑え、活動プログラムの事前調整を行うなど、柔軟な対応に努めた。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に対して、緊急時応対マニュアルを完備し、適切に対応した。
ア　事故・事件の防止対策		
イ　野生生物対策		
ウ　怪我・体調不良等への対策		
6　施設の効用の発揮		
（１）入退所時間、使用時間、休所日	B	・利用者の希望に合わせて、入退所時間（条例上9：00～16：00）を柔軟に対応した。 ・語学に長けたスタッフを受付に配置し、外国籍の利用者への対応を実施している。 ・年間4回の試食会を踏まえ、季節の食材や地元の食材を取り入れ、五感（見た目、音、味、食感、香り）を意識したメニュー開発し好評を得た。
（２）利用料金設定・減免		
（３）利用者への支援		
ア　利用受付		
イ　食事・食材提供		
ウ　生活用品、活動プログラム使用消耗品等提供		

（４）利用促進の方策 ア　中学生以下の利用促進策 イ　高校生以上の利用促進策 ウ　ボランティアとの協働 （５）利用者意見徴収・自己モニタリング ア　利用者意見の聴取 イ　利用者意見への対応 ウ　自己モニタリング （６）施設の事業の効果的な実施 ア　活動プログラム開発・提供 イ　展示施設の運営 ウ　主催事業 （７）自主事業の効果的な実施 ア　特別イベント運営事業 イ　特別講座運営事業	C	・LINE公式アカウントを開設し、PUSH型の情報提供を行った。 ・キャンプサイトの利用促進のために、デイキャンプや日帰りBBQ等を自主事業として実施した。 ・家族利用の促進を目指し、星空キャンプや父と子のキャンプなど家族を対象としたキャンプを増枠し、利用者から好評を得た。 ・高校生以上だけの利用に関して、利用料金半額キャンペーンを実施したが、結果には結びつかなかった。
７　その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	・職員（常勤・非常勤）及び委託先職員54人のうち千葉市11人、長柄町在住14人である。（46.3%） ・庶務担当者として、1人障がい者雇用職員を確保している。 ・指定管理移行前（ＰＦＩによる運営）から職員を継続雇用しており、施設職員の雇用定着率が極めて高い。

総合評価	C

【評価の内容】
Ａ：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
Ｅ：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

５　総合評価を踏まえた検討

（１）指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

（上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因）

・施設利用者数に関して、コロナ5類移行後も数値目標を下回った。特に高校生以上を対象とした大人の利用を促進していく計画であったが利用は25%に留まっており、新たな年齢層の顧客獲得に向けた一層の努力が望まれる。
・利用者アンケートによるスタッフに対する評価は、事業期間中常に4.5以上の高い水準を維持しており、施設利用者に対して安定的かつ継続的に自然体験事業のノウハウや実績を活かした良質なサービスの提供を達成できたものと評価する。
・事業期間中の主催事業の実施数は、コロナ禍にあった令和２～３年度も含め、常に市数値目標を上回っているほか、地元住民の協力のもと実施する地域連携プログラムについても、精力的に実施した。
・開発したプログラムのブラッシュアップも定期的に行っており、プログラムの開発状況は期待通りの効果を達成したものと評価する。
・施設利用人数、利用者アンケート結果、活動プログラム数等から総合的に判断した結果、本施設の運営はおおむね要求水準を満たすものであり、指定管理者制度導入により一定の効果があったものと判断する。

（２）指定管理者制度運用における課題・問題点

・制度運用における課題・問題点は特にない。

（３）指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

（４）こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見

ア　市による評価は概ね妥当であると認められる。
イ　多様な年代の利用促進について、創意工夫を凝らした企画を検討する等、より一層努められたい。